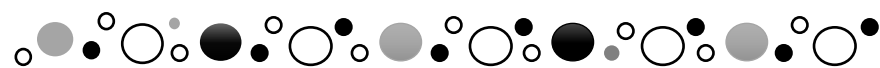




2024 年度

家庭教育支援事業の記録



杉並区教育委員会事務局

学校支援課 家庭・地域教育担当

2024（令和6）年度の家庭教育支援事業

開催回/団体名	テーマ	講師	開催日	人数
家庭教育講座（教育委員会主催）				
第1回	どうする？子どものおこづかい ～キャッシュレス時代のお金を考える～	J-FLEC認定アドバイザー 吉田 淳子	11月6日	26
第2回	自己肯定感をはぐくむ魔法の言葉 ～子育てに必要なたった1つの大切なこと～	NPO法人親子コミュニケーションラボ 代表理事 天野 ひかり	1月25日	31
第3回	おうち性教育 ～子どもを守る第一歩～	NPO法人ビルコン 理事長 染矢 明日香	3月11日	22
家庭教育講座（地域団体主催・教育委員会共催）				
ミモザの花～子どもの不登校を考える会	不登校に関する情報交換会（第1回） 子どもが「学校へ行きたくない」と言ったら	東京都立府中療育センター小児科 医師 栗原 亜紀 フリースクール「フェルマータ」 代表 大橋 勲 ほか	6月9日	63
	不登校に関する情報交換会（第2回） 不登校の子ども的高校進学	元定時制高校教員 多賀 哲弥 フリースクール「フェルマータ」 代表 大橋 勲 ほか	10月19日	25
善福寺プレーパークの会	なぜ増え続けるの！？不登校・発達障害	Kids Sense 主宰 茂木 厚子	6月29日	71
大震災時のこどもの安全・安心を考える「あさっこ会」	大震災時のこどもの安全・安心を考える～今見直す“本当の備え”とは？～	防災士 六車 貴美子 ほか	6月29日	31
こどもの成長を護る杉並ネットワーク	不登校の子どもの気持ちを感じられますか？	BUNTE KISTE	7月20日	31
	続・不登校の子どもの気持ちを感じられますか？	主宰 石原 次郎	1月18日	46
ゴードンメソッド「親業」@すぎなみ	子どもの自己肯定感を育むコミュニケーション講座（第1回） 発達に遅れのある子の生きる力を育む関わり方	親業訓練インストラクター 保田 玲子	9月8日	32
	子どもの自己肯定感を育むコミュニケーション講座（第2回） 自己肯定感を育む思春期の関わり方	親業訓練インストラクター 加藤 規子	10月6日	15
杉並和泉学園校区地域教育推進協議会	家族のトリセツ～自己肯定感を高める対話術	人工知能研究者 黒川 伊保子	9月26日	91
富士見丘中学校区地域教育連絡協議会	思春期のトリセツ～子どもに寄り添えてますか？～	風のとびら 代表 飯田 佳子	12月5日	39
杉並区立西荻北子供園PTA	子どもの特性・個性に応じた接し方、伸ばし方	明治学院大学 特命教授 川副 園美	1月20日	17
一般社団法人ファミリード	子どもにも教えたい！基礎から学ぶ家計管理と資産運用	ファイナンシャル・プランナー 横山 沙織	2月20日	11
家庭教育フォーラム				
家庭教育支援を学び合う会			1月21日	11

どうする？子どものおこづかい ～キャッシュレス時代のお金を考える～



日時：令和6年11月6日（水）10:00～12:00

会場：区役所第4会議室

参加人数：26名

講師：J-FLEC 認定アドバイザー 吉田 淳子

企業で人事教育業務を担当後、公益法人で消費者相談業務に従事。
その後、金融広報中央委員会の金融広報アドバイザーを歴任。これまで、出前授業で「ゲームで学ぶお金の使い方」、保護者向けに「子どものおこづかいどうしている？見えないお金と子どもの関わり方」など数多くの講座を実施。

●内容●

「おこづかいをいつから渡したらいいのか」「現金で渡すべきなのか」など、支払方法の多様化に伴う悩みに寄り添うテーマで講座を開催しました。子どもへのお金の価値の伝え方、おこづかいを渡す際のルールや気を付けたいことなどを学びました。キャッシュレス化の進展により、お金の価値が捉えにくくなる中で、おこづかいが子どもの金銭感覚を養うこと、おこづかいを渡すことで家計の一部を任せる重要性など、参加者にも気づきが多くありました。

コロナ禍を経て安心して対面で開催できるようになり、参加者同士の意見交換の時間では、同じ悩みを持つ保護者だからこそ共感できることが多く、話が盛り上がっている様子が見られました。

●参加者の声●

- ・どのような物を購入したのか、欲しい物の優先順位など、紙に書いて可視化するのが大切だと思いました。「おこづかい≡家計の一部を任せる」という考え方をしていなかったので、子どもと話し合ってみようと思いました。
- ・金銭感覚の土台作りをもう一度意識して考えようと思いました。現在、交通系キャッシュレスを利用させているのですが、交通系キャッシュレス専用のおこづかい帳を子どもに作ってもらおうと思います。
- ・子どもの年齢によっては、使い道をチェックするのは難しいと思いますが、「使い道をチェックしてね」と本人に伝えることで、ムダ遣いが減ると思います。子どもがお金で将来困らないようにするためのヒントがたくさんあり、大変参考になりました。

自己肯定感をはぐくむ魔法の言葉 ～子育てに必要なたった1つの大切なこと～



日時：令和7年1月25日（土）10:00～11:30

会場：セシオン杉並第8・9・10集会室

参加人数：31名

講師：NPO 法人親子コミュニケーションラボ 代表理事 天野 ひかり

テレビ局アナウンサーを経てフリーアナウンサー。NHK「すくすく子育て」キャスターとしての経験を生かし、子どもの自己肯定感を育てるコミュニケーションアドバイザーとして各種メディアや講演、研修、企業セミナー講師などを務め、受講生は6万人以上。子どもの笑顔が輝く社会になることを願い、一児の母として子育ての喜びと大変さに共感を持って活動に臨んでいる。

●内容●

親子のコミュニケーションに関心の高い保護者が多いことから、杉並区の社会教育委員であり、NPO 法人親子コミュニケーションラボの代表理事でもある天野ひかりさんに講演をお願いしました。

子ども同伴可として開催したところ、当日は多くの親御さんとともにお子さんも参加し、終始にぎやかな講座となりました。講座では、講師からの声掛けや隣の方との情報交換の時間もあり、参加者全員が主体的に取り組みやすい雰囲気でした。自己肯定感を育む会話の3ステップや、ほめる・叱る言葉から「認める言葉」に変えるコツを学びました。質疑応答の時間には、たくさんの質問やそれぞれの家庭の悩みに対するアドバイスを聞くことができ、学びの多い時間となりました。

●参加者の声●

- ・子どもの視点に立った言葉かけが、分かっているようで分かっていなかったと、とても勉強になりました。先生の、具体的な場面が目浮かぶようなお話は、よくあるシーンばかりで、吸い込まれるように聞いてしまいました。わかりやすく、すぐに自分で実践してみようと思うことがたくさんありました！
- ・「叱って直すより当たり前のことをほめる」という言葉を今日から実践したいと思いました。食事のマナーについて「何回言ったら直せるのー！」と、お互いストレスがあったので、ほめることも意識していこうと思っています。
- ・子どもが一緒でも参加しやすい雰囲気でもとてもよかった。自分の価値観で接することなく、自立する力を育てられるように頑張ろうと思った。

おうち性教育 ～子どもを守る第一歩～



日時：令和7年3月11日（火）14:00～16:00

会場：区役所第4会議室

参加人数：22名

講師：NPO 法人ピルコン 理事長 染矢 明日香

自身の経験から日本の思いがけない妊娠・中絶の多さに問題意識を持ち、性の健康の啓発を行うピルコンを設立、2013年にNPO法人化。これからの世代が自分らしく生き、豊かな人間関係を築ける社会の実現を目指し、ユースボランティアと共に中高生向け、保護者向けの性教育講演や情報発信、性教育教材の開発・普及、政策提言等を行う。公認心理師、公衆衛生学修士、思春期保健相談士、慶應義塾大学SFC研究所上席所員。

●内容●

講座の冒頭に参加者から寄せられた声は、「今の学校でどのような性教育が行われているかわからない」「性教育を家庭で行うにはどうしたらいいのだろう」というものでした。

家庭におけるさまざまな場面に合わせて、子どもとの性に関する会話のコツなどを教えていただきました。参加者の不安や悩みに応えるかたちで講座が進められ、具体的なイメージを持って学びを深めることができました。性教育への関心の高さが明らかになると同時に、参加者にとって満足度の高い講座となりました。

●参加者の声●

- ・年代別で声掛け方法が異なることや、具体的な説明（声掛け）方法を知ることができたのでよかったです。ネットの情報がたくさんある中、大人も正しい知識を得ていく必要があると感じました。
- ・性教育をする際に、人間関係や人権等にも触れて話ができたらいいなと思いました。学習者（子ども）が中心となるアプローチが大切で、どういう風に思ったのか、感じたのか等を確認しながら話をしたいと思いました。
- ・学校での教育など、把握できていなかったことも理解できた。また、おうちでの性教育をそこまで身構えなくて良いとわかった。
- ・学校でどんなことを学んでいるか知ることができて、家庭での関わり方のヒントをいただけた気がします。また親子で学べそうな動画や絵本の紹介もあり参考になりました。

不登校に関する情報交換会 主催団体名：ミモザの花～子どもの不登校を考える会

	第1回	第2回
テーマ	子どもが「学校へ行きたくない」と言ったら	不登校の子どもの高校進学
開催日	令和6年6月9日	令和6年10月19日
会場	阿佐谷地域区民センター	
参加人数	63名	25名
講師	東京都立府中療育センター小児科 医師 栗原 亜紀 フリースクール「フェルマータ」 代表 大橋 勲 ほか	元定時制高校教員 多賀 哲弥 フリースクール「フェルマータ」 代表 大橋 勲 ほか

不登校になったらどうしたらいいか、発達特性と不登校、不登校児の卒業・進学のこと、学校の選び方など多様な視点からの講演のほか、不登校経験者と参加者の懇談を実施しました。

●参加者の声●

- ・子どもへの接し方について気づきがありました。
- ・経験者の話に救われました。
- ・ここまで具体的な情報が得られる相談会は初めてでした。
- ・特別支援教育は早期に利用した方がいいなど、経験者から聞けてよかった。

なぜ増え続けるの！？不登校・発達障害 主催団体名：善福寺プレーパークの会

テーマ	なぜ増え続けるの！？不登校・発達障害
開催日	令和6年6月29日
会場	阿佐谷地域区民センター
参加人数	71名
講師	Kids Sense 主宰 茂木 厚子

子どもは、発達段階に合わせた環境における、豊かな遊びや体験を通して発達することをワーク形式で学び、グループでの意見交換により、さらに知識を深めることができました。

●参加者の声●

- ・子どもの理解不能な行動の原因がわかり、怒ることが少なくなりそうだと思います。
- ・たくさんの気づきを得られて、悩んでいるのは私一人ではないと勇気をもらえました。
- ・子どもの脳の成長段階に関する貴重な話を聞かせていただき、大変勉強になりました。
- ・区内で学習支援教員をしています、不登校児の増加に心を痛めていたので、とても参考になりました。

大震災時のこどもの安全・安心を考える 主催団体名：大震災時のこどもの安全・安心を考える「あさっこ会」

テーマ	今見直す“本当の備え”とは？
開催日	令和6年6月29日
会場	セシオン杉並
参加人数	31名
講師	防災士 六車 貴美子、田口 文昭 ほか

杉並区の被害想定パンフレットなどの素材を活用し、特に阿佐谷・天沼・高円寺地域での避難行動について情報共有を行いました。防災のための備えについて、親子で考えることや、居住地域で顔見知りを増やすことの大切さを学びました。

●参加者の声●

- ・親子で参加し、話し合いながらワークシートに取り組むことで、それぞれの状況をイメージできました。
- ・防災力チェックを通して、子どもには何ができて何が足りないかを知ることができました。
- ・グループでの意見交流のときに、各グループに一人防災士が入り、各地域の避難場所の確認や防災イベント等の相談を受けてもらえました。

不登校の子どもの気持ちを感じられますか？

主催団体名：こどもの成長を護る杉並ネットワーク

	第1回	第2回
テーマ	不登校の子どもの気持ちを理解し寄り添う	
開催日	令和6年7月20日	令和7年1月18日
会場	永福和泉地域区民センター	
参加人数	31名	46名
講師	東洋大学総合情報学部名誉教授 BUNTE KISTE 主宰 石原 次郎	

「不登校の子どもの心とどう向き合っていくのか」をテーマに、講座の中で2種類のワークを行い、体感から気づきを得る工夫を取り入れました。

●参加者の声●

- ・目からウロコのようなことが多く、とても驚きました。
- ・子どもの話を聞くこと、子どもをいつも側で見守ることなど、自らを振り返って出来ていないな、と思いました。
- ・自分の価値観は自分のもので、子どもにとって正しいとは限らないことを知りました。
- ・子どもの発言に対処するのではなく、子どもの気持ちをただ受け入れることが大事だと知りました。

子どもの自己肯定感を育むコミュニケーション講座

主催団体名：ゴードンメソッド「親業」@すぎなみ

	第1回	第2回
テーマ	発達に遅れのある子の生きる力を育む関わり方	自己肯定感を育む思春期の関わり方
開催日	令和6年9月8日	令和6年10月6日
会場	阿佐谷地域区民センター	
参加人数	32名	15名
講師	親業訓練インストラクター 保田 玲子	親業訓練インストラクター 加藤 規子

講師自身が、発達特性のある子を育てた経験から、実体験を交えながら参加者同士で話し合い、子どもが自分らしく「今」を楽しみながら成長するためにはどのようなコミュニケーションが効果的かを学びました。また、自己肯定感を育むための具体的な関わり方を学び、ロールプレイで実践しました。

●参加者の声●

- ・子どものためにと思いやっていたことが、子どもを傷つけることもあると分かり、コミュニケーションを見直そうと思いました。
- ・ディスカッションを通じて、具体的な例に基づいて子どもの受け止め方を学びました。
- ・子どもが自立するためには、人間関係が大事だと気がつきました。



家族のトリセツ～自己肯定感を高める対話術

主催団体名：杉並和泉学園校区地域教育推進協議会

テーマ	自己肯定感を高める対話術
開催日	令和6年9月26日
会場	杉並和泉学園
参加人数	91名
講師	人工知能研究者・脳科学コメンテーター 黒川 伊保子

AI時代の子育ての最重要キーワードは自己肯定感。その自己肯定感をどのように育てればいいのか、ヒントが満載の講座でした。

●参加者の声●

- ・生徒との関わり方で素晴らしい気づきがたくさんありました。
- ・今まで自己肯定感を意識しない子育てをしてきましたが、いくつになっても遅くはないと知りました。
- ・学園の先生も参加している姿を見られたのでとても素敵な講演会でした。
- ・思春期の子ども達に手を焼いていましたが、これからの子育てが楽しみになりました。

思春期のトリセツ～子どもに寄り添えていますか？～

主催団体名：富士見丘中学校地域教育連絡協議会

テーマ	思春期のトリセツ～子どもに寄り添えていますか？～
開催日	令和6年12月5日
会場	杉並区立富士見丘中学校 特別活動室
参加人数	39名
講師	風のとびら代表・ゲートキーパー 飯田 佳子

子どもの成長過程についての話から、思春期について詳しく学びました。2つの事例ワークで、子どもへの言葉かけについて理解を深め、講師の体験や事例を通して、思春期を迎えた子どもとの関わり方を知ることができました。

●参加者の声●

- ・子どもの発達の中で自我が芽生える時があり、その時に心と体のバランスが崩れやすいことを生理学的に説明してもらい、よく理解出来ました。
- ・講師の子育ての体験や実際のケースを使ってお話頂いたので理解しやすかった。
- ・保護者がよかれと思って行ったことが子どもにとって必ずしもプラスに働くわけではないと知りました。



子どもの特性・個性に応じた接し方、伸ばし方

主催団体名：杉並区立西荻北子供園 PTA

テーマ	子どもの特性・個性に応じた接し方、伸ばし方
開催日	令和7年1月20日
会場	杉並区立西荻北子供園 2階ホール
参加人数	17名
講師	明治学院大学特命教授 川副 園美

子どもの特性・個性に応じた接し方、伸ばし方（具体的な言葉かけの内容）を学びました。子どもの誕生から自立までの発達と特徴について知り、お母さんたちの頑張りを認めてくれる言葉をたくさんかけて頂きました。

●参加者の声●

- ・つらいと思っていた子育てを、ユーモアをもって頑張れそうです。
- ・子どもの良いところを伸ばしていきたいと思っていたので、大変ためになりました。
- ・最近のトレンドなども知ることができて興味深かった。
- ・年齢別の悩み等が具体的に聞けてありがたかった。

子どもにも教えたい！基礎から学ぶ家計管理と資産運用

主催団体名：一般社団法人ファミリード

テーマ	子育て世代の親子のための金銭教育
開催日	令和7年2月20日
会場	セシオン杉並
参加人数	11名
講師	ファイナンシャルプランナー 横山 沙織

人生をより豊かにするため、家計管理と資産運用の基本的な考え方を知り、またそれを子どもたちにも自信をもって教えられるように、3つの観点から学びました。

●参加者の声●

- ・すごく難しい話をかみ砕いて説明してもらえて納得出来ました。
- ・ゴールを考えることの大切さを知り、積立投資の計算が面白く体感できました。
- ・プレゼンや資料がとても見やすく、大変満足しました。長期分散投資をしようと思いました。
- ・子どもの価値観を含めて、何にお金を使うかのポイントが良く分かったので夫や家族にシェアしようと思います。

家庭教育フォーラム

令和5・6年度に教育委員会と共催で家庭教育講座を開催した団体の皆さんと、「家庭教育支援を学び合う会」として実施しました。

当日は、各団体の活動や、講座を実施した成果及び課題などを共有し、今後の家庭教育支援について話し合いました。

「家庭教育支援」という同じ目的をもった団体同士の交流は、次の講座開催への意欲を高め合うことにつながりました。



「すぎふあみ便り」

保護者が家庭や地域でより豊かに子育てするためのヒントを伝える記事を、教育情報誌「なみすく」に掲載しています。

理科を楽しもう！
科学の世界に親しもう！

2024 夏号

子どもたちの心は、いつも疑問でいっぱいです。理科や科学に興味を持ち、好きになるために、その疑問を持つこと自体、とても価値のあることです。親は、子どもの持った疑問に対して「本当に不思議だね」と寄り添うだけで、正しい答えを示す必要はありません。子どもが疑問を持ち、自分で取り組もうとする姿勢を育てることが、子どもたちの大きな成長につながります。

(話：柳田 理科雄さん)

保護者がまず知る！
今どき防災事情

2025 春号

災害発生時間帯や場所ごとにいくつかのパターンを想定しながら、避難経路を親子で確認しましょう。普段から、地域の防災イベントなどを通して大人同士が知り合い、協力し合える関係をつくることも大切です。子どもが保護者と離れて過ごす際、そばにいてくれる信頼のおける大人の存在は、子どもにとっても大人にとっても安心につながります。

(話：あんどうりすさん)



比較しない子育てとは？
～心理学の知見から

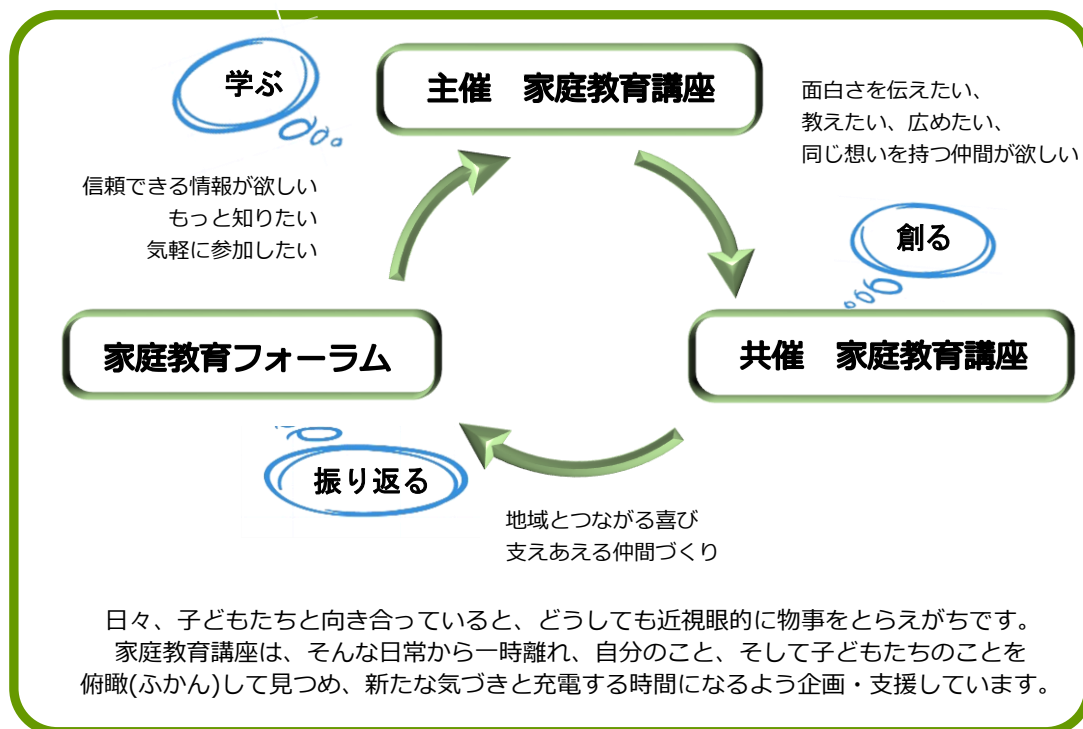
2024 冬号

他の子どもと比較しないためには、子どもがどうすれば一番よいか、究極どれが重要か、親自身の価値観を問い直してみるといいでしょう。どのような状況にあっても子どもを見放さず、関心の目を向け、気にかけることが愛情なのではないかと思います。困ったときは、親の態度で嫌なことはないか、子どもに直接問いかけてみてもいいかもしれません。

(話：小塩 真司さん)



杉並区教育委員会が提供する家庭教育支援プログラム



教育委員会では、「子育てについて新たな視点や気づきを得られる場」「仲間と思いを共有し、日々の活力を得られる場」として、**家庭教育講座を主催**しています。

また、子どもにかかわる大人たちが地域の中で自ら学びの場をつくろうと思ったとき、**教育委員会共催として家庭教育講座**を開催できるように支援をしています。

さらに、講座を主催する皆さんの学びと情報交換の場として、**家庭教育フォーラム**を開催してきました。

学びが循環し、地域で支えあえる関係を育めるような仕組み作りを行っています。

〇あなたの声を聞かせてください〇

今後の家庭教育講座企画の参考にさせていただきたく、皆さまのご意見を募集しております。

右のQRコードより、アンケートにご協力をお願いいたします。



2024 年度 家庭教育支援事業の記録

令和 7 年 5 月 発行

編集・発行 杉並区教育委員会事務局 学校支援課

家庭・地域教育担当

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目 15 番 1 号

TEL (03) 3312-2111

登録印刷物番号

07-0019

★杉並区のホームページでご覧になれます。<https://www.city.suginami.tokyo.jp>